



地域の力が犯罪や非行防ぐ

7月の「社会を明るくする運動」強調月間に合わせて、北播保護区西多分区保護司会のメンバーが市役所を訪ねました。宇仁菅勸会長が「人と人が互いに支え合うコミュニティーを築くことこそが、安全で安心な明るい社会の実現につながる」などと記した総理大臣メッセージを片山市長に伝達しました。

本運動は犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な取り組みです。〔7月3日／市役所〕



感謝の気持ちを一句菜館12周年

農家の育成や地産地消の推進を目的に平成23年にオープンした北はりま旬菜館では、日頃のご愛顧に感謝する記念セールを実施しました。チビジャガイモとチビタマネギの詰め放題や、地元野菜を使った加工品の販売などが行われたほか、百日どりの焼き鳥やクレープなどのキッチンカーも出店。会場は買い物客らでにぎわいました。

令和4年度は約14万8千人が来店しています。〔7月8日／北はりま旬菜館〕



J R加古川線を守るー官民連携で利用促進へ

路線の維持・利用促進を図ろうと、沿線の丹波市や県関係者、J R西日本などの交通・観光事業者で構成する「J R加古川線（西脇市ー谷川間）維持・利用促進ワーキングチーム会議」の初会合が7月6日、兵庫県社総合庁舎で開かれました。会議では、関係者が利用促進に向けた意見を交換しました。

また、黒田庄まちづくり協議会が「J R加古川線に乗ろう！キャンペーン」と銘打って、利用促進策を計画。7月9日のオープニングイベントは悪天候で中止となりましたが、10日から黒田庄駅でレンタサイクルを開始。加古川線の利用者は無料で、折りたたみ自転車を車内に持ち込むこともでき、降車した駅周辺の名所や名物を楽しむことができます。協議会が開催する今後のイベントにご期待ください。



交通安全を一啓発活動

「夏の交通事故防止運動」に合わせ、西脇多可交通安全協会などのメンバーが啓発活動を実施。みらいえの来館者に啓発グッズを手渡しなが、「交通ルールを守りましょう」などと呼び掛けました。〔7月14日／みらいえ〕



短冊に願い込め

七夕に合わせ、短冊を書いて笹に結ぶコーナーを設置。子どもたちに日本の風習を親しんでもらおうと企画したもので、来館者が思いの願いを書いた短冊をつりました。〔6月30日～7月14日／みらいえ〕



みらいえで水遊び満喫

こどもプラザとボランティアサークルのハッピーネーブルによる水遊びイベント「ウォーター☆パラダイス」を開催。子どもたちは、元気いっぱいさまざまな水遊びを楽しみました。〔7月17日／みらいえ〕



薬物の危険性を学ぶ特別授業

西脇ライオンズクラブが夏休みを前に薬物乱用防止教室を開き、西脇南中学校の全校生徒が薬物の危険性を学習しました。元厚生労働省麻薬取締官の湯永耕平さんは、薬物別生涯経験者数や薬物事犯検挙人員の推移、違法薬物の怖さや心構えなどを解説。違法薬物に手を出さないよう強く訴えました。〔7月19日／西脇南中学校〕



「もったいない」を「ありがとう」に

家庭で余っている食品を持ち寄り、必要とする福祉団体や施設、子ども食堂に贈る活動「フードドライブ」を市内10カ所で実施しました。集まった食品や日用品の総重量は440キロ。これらは市内の子ども食堂や老人福祉施設などに贈られ、施設関係者から感謝の意が伝えられました。〔7月10～14日／市内〕